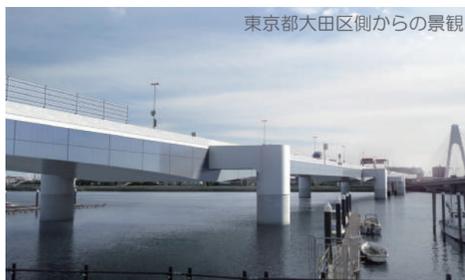


位置図



●高速大師橋の更新（造り替え）に伴い、現在の構造基準に基づき、道路の幅員を 16.5m から 18.2m に拡げます。

都市計画道路の路線名	東京都計画道路都市高速道路第1号線 川崎市計画道路1・4・1号横浜羽田空港線
所在地（住居表示）	東京都大田区羽田二丁目、羽田三丁目 神奈川県川崎市川崎区殿町一丁目
延長	約300m
幅員	18.2m（現在16.5m）
車線の数	4車線
完成予定時期	2025年度

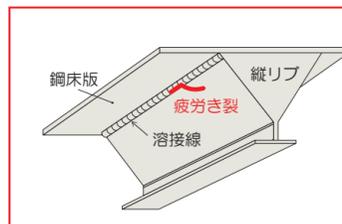
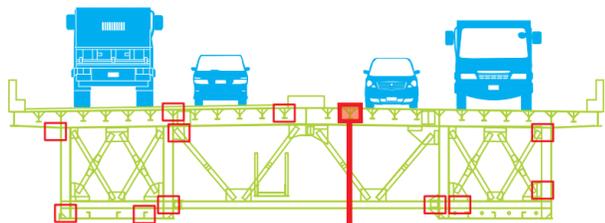


完成イメージ

更新（造り替え）の必要性

- 首都高速1号線（高速大師橋）は、昭和43年11月の開通から40年以上が経過し、多くの自動車交通による過酷な使用状況などにより、橋梁全体に多数の疲労き裂が発生しているため、日々、点検・補修を行っています。
- 構造物の長期的な安全性を確保する観点から、橋梁の更新（造り替え）を行い、疲労き裂が発生しにくい構造とします。

損傷発生状況（□：き裂発生箇所）



工事中における環境保全のための対応

工事期間中は、細心の注意を払い、周辺環境への影響を十分配慮して、適切に工事を行います。

大気質 騒音 振動	<ul style="list-style-type: none"> 建設機械は、排出ガス対策型、低騒音・低振動型建設機械を使用します。 工事用車両は、排出ガス規制適合車を使用し、アイドリングストップを動作します。 粉じん飛散防止のため、工事用車両の荷台を防護シートで覆います。 工事用車両の車体やタイヤに付着した土砂等は洗浄します。 工事の平準化を図り、工事用車両の極端な集中を避けます。
水質	<ul style="list-style-type: none"> 河川内の工事においては、汚濁防止膜の設置等による濁りの拡散防止等、周辺水域に濁りの影響を与えないように努めます。
生態系	<ul style="list-style-type: none"> 本事業では、多摩川水系河川整備計画に位置づけられている「生態系保持空間※」を改変しないよう工事を行います。 ※多摩川水系河川整備計画において学術的に価値づけられる、広域的にみた貴重な生態系を保持する空間
廃棄物等	<ul style="list-style-type: none"> 本事業により発生する建設副産物については、できる限り再利用及び再資源化に努めるとともに、再利用及び再資源化できないものについては、関係法令等を遵守し、適正に処理・処分を行います。

環境保全対策

遮音壁の設置、高機能舗装の採用により、自動車の交通騒音の低減を図ります。

<p>遮音壁の設置</p> <p>更新後も現在と同じ高さの遮音壁を設置します。</p>	<p>高機能舗装の仕組み</p> <p>高機能舗装は、一般の舗装よりもたくさんの隙間ができるように工夫された舗装です。これにより、車のタイヤと路面の間の空気が舗装の隙間に逃げるため、エアボンピング音が生じにくくなります。</p> <p>出典： 「漫画で学ぶ舗装工学」建設図書 一部標記を変更して記載</p>
--	--

事業手続き

高速道路機構との協定変更	2014年11月17日
事業許可	2014年11月20日 国道高第177号
都市計画(変更)決定(更新事業に伴う区域変更及び車線数の決定)	2016年3月7日 東京都告示第343号 2016年3月7日 川崎市告示第133号
都市計画事業認可(更新事業に伴う区域変更及び車線数の決定)	2016年4月28日 東京都告示第912号 2016年4月28日 神奈川県告示第238号
都市計画(変更)決定(橋脚形状変更に伴う区域変更)	2017年7月31日 川崎市告示第434号
都市計画事業認可(橋脚形状変更に伴う区域変更)	2017年8月25日 神奈川県告示第361号



お問い合わせ先



更新・建設局
 工事について 大師橋工事事務所
 TEL：03-6428-6948
 〒144-0052 東京都大田区蒲田4-22-3
 住友生命蒲田ビル5F
 受付時間（平日）9：00～17：00

計画について 調査・環境課
 TEL：03-6803-3770
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2-1
 KANDA SQUARE 17F
 受付時間（平日）9：00～17：00

ホームページは [高速大師橋](http://www.shutoko.jp/ss/daishibashi/)

<http://www.shutoko.jp/ss/daishibashi/>

このパンフレットは再生紙を使用しています。
発行：2021年4月

首都高速 1号線 高速大師橋

更新工事の概要

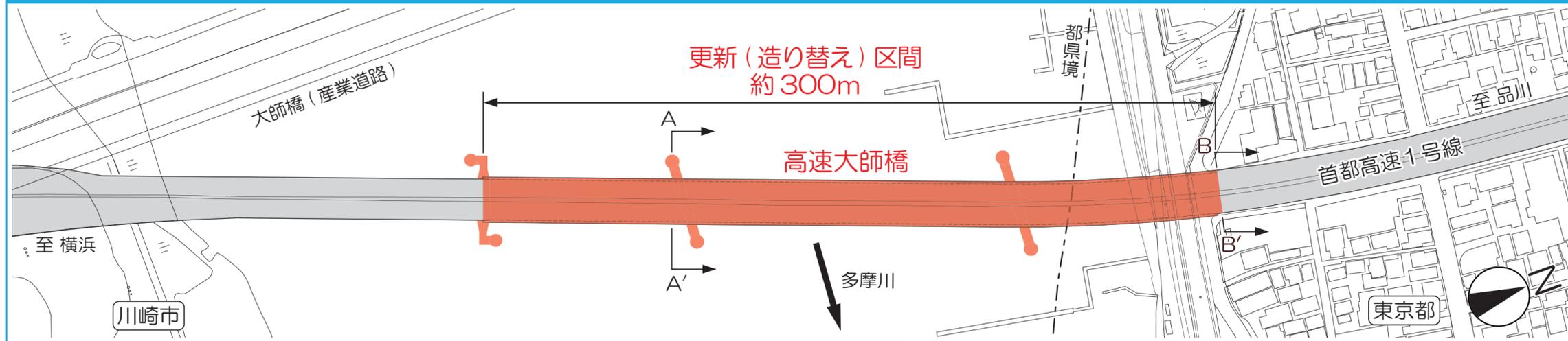


構造物を安全な状態に保つため、日夜きめ細やかな点検を実施し適切な補修に取り組んでいるところですが、進行する構造物の高齢化や過酷な使用等により、重大な損傷も発見されている状況にあります。そこで、道路構造物を長期にわたって健全に保つため、構造上、維持管理上の問題や損傷状況等を精査しながら、首都高の更新事業を進めています。

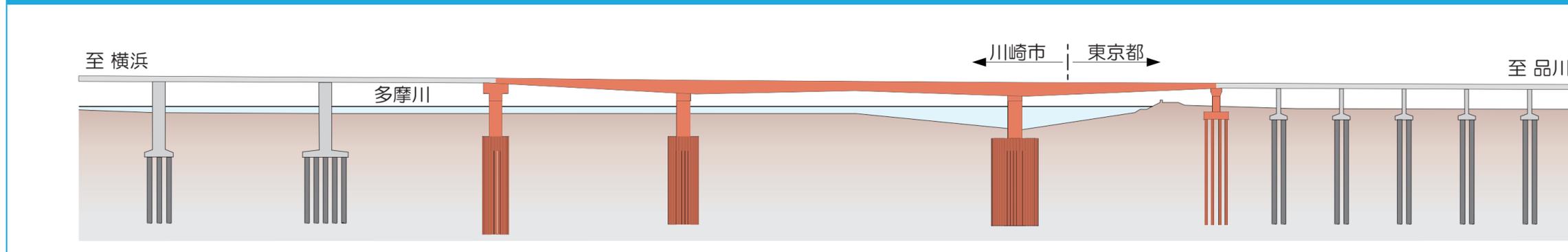
事業内容

凡例  :更新後

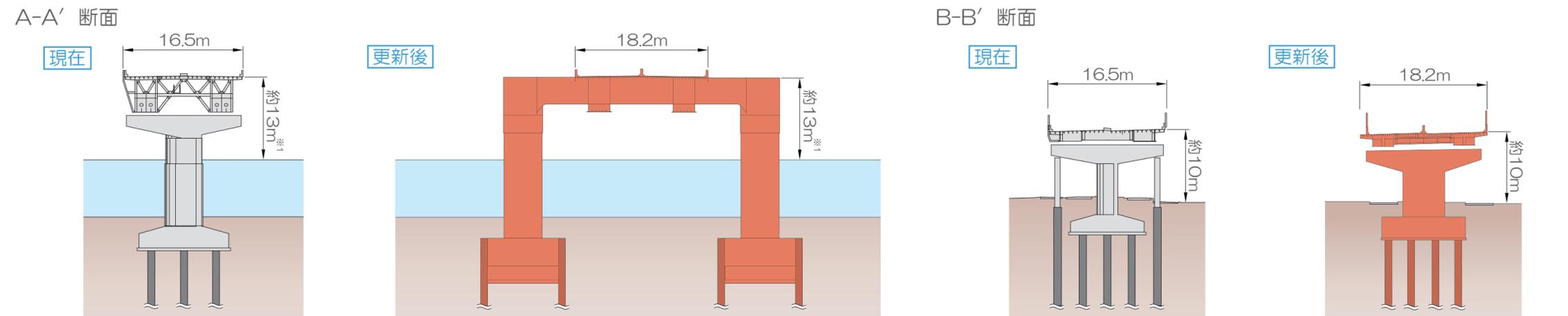
平面図



側面図



断面図



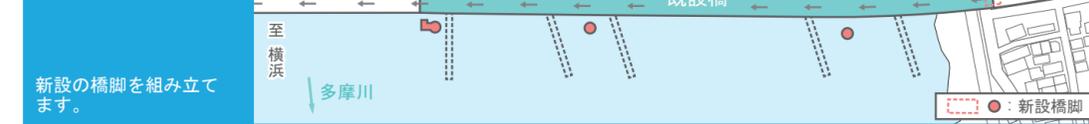
※1 東京湾の平均的な海面高さ(TP+0.0m)から道路面までの高さ

※地形は2016年1月時点のものです。

施工計画について

Step1

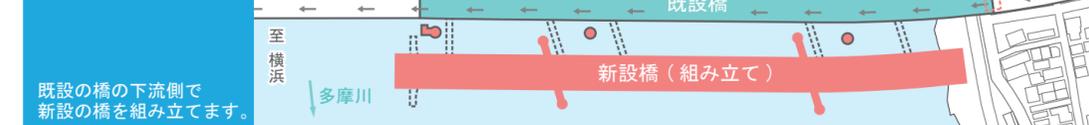
新設橋脚組立



新設の橋脚を組み立てます。

Step2

新設橋組立



既設の橋の下流側で新設の橋を組み立てます。

Step3

通行止め

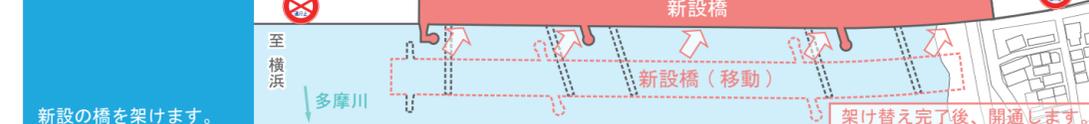
既設橋移動



既設の橋を上流側に移動させます。

Step4

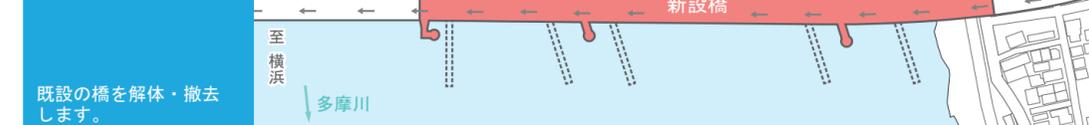
新設橋架設



新設の橋を架けます。

Step5

既設橋解体・撤去



既設の橋を解体・撤去します。

工事完成

2025年度予定

